

やましん歌壇掲載歌＜第13回＞

短歌	平成26年3月～平成31年4月		令和1年5月～	
	掲載短歌	H28年6月：公園の軌んで揺れるブランコに 遊んだ子らの気配が残る（＊）：阿部京子選	R2年10月：「おとうさん」幼い文字の絵日記が 不意に現るキャビネットの奥（＊）：佐藤幹夫選	
		H28年7月：管理下と言われて久しきフクシマの 海は黙してメディアが語る：井上管子選	R2年10月：かなかなが呼び水となり虫時雨 黄昏賑わい小夜へと向かう：大滝 保選	
		H28年7月：雪残る霊峰を背に芝ざくら 覆える堤は王朝絵巻（＊）：大滝 保選		
共同制作の写真短歌（＊）&写真短歌（＊＊）	＊＊他人の写真に自身の短歌 ＊写真も短歌も自身の作品			
		87首		103首（令和7年5月まで）
作品	短歌	38作品（自身の作品：37＋共同制作：1）		74作品（自身の作品：50＋共同制作：23）
	上記短歌中の写真短歌			